

# 光に満ちた「花と緑の空間」に



「ゆっくり散歩やジョギングをしたい」「ベンチに座ってゆったり読書がしたい」「落ち着いて草花を楽しみたい」「思い切り遊びたい」。公園はそういった人々の心を満たし、安らぎや憩いを与えてくれる場所です。また、地域コミュニティ活動の場としての役割も担う市民共有の財産です。

今回は、ふらっと立ち寄れる身近な公園を維持するために活動している人々や、整備を進めている総合運動公園の新エリアを紹介しています。

感染症対策を行いながら、花や緑に包まれた空間で日の光を浴び、心身をリフレッシュしてみませんか。

☎みどり公園課 電話94-4759

## 身近な公園を支える「地元のか」

市は「地域の公園は、地域の手で守る」をモットーに、地元の人々で継続的・自主的に公園の美化活動をしていただく公園愛護会事業を推進・支援しています。

### きれいな公園を維持したい

市では現在148カ所の公園を管理しており、72カ所で公園愛護会が設立されています。平成27年11月に供用を開始した白金公園(下槽屋)で活動しているお二人にお話を聞きました。

白金公園愛護会  
のろえいこ  
野呂 栄子さん(高森・写真右)  
まえしま やすこ  
前嶋 靖子さん(高森・同左)



初めてここを訪れたとき、日当たりが良く、学校や保育園が近くにあるので、明るい声があるので、気持ちの良い所ができたと感じたことを覚えています。市が公園愛護会を募集しているのを知り、平成28年6月に二人でこの会の設立に応募しました。主に園内の除草や清掃をしています。今ではすっかり日課になっており、活動した後は不思議と家事もはかどるので、健康維持にも一役買っています。通りがかりの人に「今日もありがとう。いつもきれいだね」と声をかけてもらったり、何げない会話ができたりするのがとても楽しいです。この環境をいつまでも維持したいと思っています。

花いっぱい、元気いっぱい

私たちは市が推進する「花いっぱい運動\*」にも関わっています。定期的に園内の花を植え替え、週3日程度手入れしているほか、成瀬小学校の2年生が花苗を植栽する校外活動のサポートも行っています。昨年は残念ながら中止となりましたが、例年100人を超える児童が参加し、サルビアやマリーゴールドといった色とりどりの花を一緒に植えています。慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、シャベルを使って一生懸命に土を掘る姿を見ると、自然と笑みがこぼれますね。学校の行き帰りに「元気に育っていてうれしい」と話しているのを聞くと、公園に愛着を持っていることが分かり、やりがいを感じます。



児童に花苗を渡す前嶋さん(平成30年に撮影)

\*花の植栽でまちの景観を良くすることを目的とした運動。毎年、春と秋に市が配布する花苗を地域住民が公園や沿道に植え、手入れをしていただいています

## 若者の活躍で公園がきれい

美しい空間を維持するため、若い人たちも活動しています。向上高等学校の生徒会「なおき会」は令和元年10月に市と合意書を結び、公園愛護会に参加することになりました。学校が取り組むSDGs(持続可能な開発目標)の一つ「住み続けられるまちづくりを」を実践するため、城ノ腰公園(東成瀬)で清掃活動をしています。

10月31日には活動の後にハロウィーンイベントも行っており、子どもとの交流を楽しんでいます。2年生の薬谷琴音さんは「小さい子とふれ合えてうれしい。喜んでもらえて良かった」と語りました※写真は令和元年のもの



昨年は16人が参加しました

仮装した子どもにお菓子を配る生徒

## 市制施行50周年を明るく華やかに

～いせはら花育プロジェクト～

「花いっぱい運動」の活動場所に市制50周年記念の看板を設置する予定です。市内各所にありますので、探してみたいかたがでしょうか。

さらに、今年には市の花キキョウを含め、さまざまな種類の花の種も配布予定です。詳しくは広報や市ホームページなどでお知らせします。



50周年記念看板のイメージ

## 安全・安心に利用するために

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、4つのポイントに気を付けて公園をご利用ください。

- ①体調が悪いときは利用を控える  
発熱やせきなど風邪の症状があるときは利用しない。
- ②空いた時間・場所を選び、譲り合う  
屋外でも「密集・密接」には要注意。状況を確認し、混雑を避けてご利用を。多くの人が利用できるよう、時間はいつもより短く。
- ③人との距離に注意する  
症状のない人でも2m以上の間隔を取る。十分な距離を保てずに会話する場合は、マスクの着用を。
- ④小まめに手洗いや消毒をする  
遊具やベンチに触れた後は、石けんなどを使って手や指を清潔にする。

## みんなが元気になれる場所に

～総合運動公園の整備を進めています～

総合運動公園は、大山を背景に四季折々の自然の中で憩い、全ての世代がスポーツや遊び、健康づくりを通じて元気になれる場所を目指しています。

昨年4月に供用を開始した子どもの広場「空と大地のゾーン」や第2駐車場などは多くの人に利用され、好評を得ています。今年3月には水景施設と「冒険遊びゾーン」、展望広場が完成し、前期整備が完了します※工事の状況や感染症対策により、施設利用を休止する場合があります。市や公園の指定管理者である「元気な伊勢原づくり」共同事業体のホームページなどでお知らせしますので、ご利用の際は事前にご確認ください



新しくできる展望デッキ(大山側)からの眺め



子どもの広場完成イメージ

## 市内外から選ばれる公園に

伊勢原大山インターチェンジからほど近く、2つのゾーンなどがさらなる魅力を生み出すことで、市内だけでなく市外からも選ばれる公園に生まれ変わります。

### 水景施設

体育館前の中央広場南側には、緑に囲まれた水の広場として、夏場にはデッキから水が噴き出す水遊び場を整備します。ベンチやパーゴラ(下の写真中央)などを配置し、イベント開催時の休憩場所としても使用できます。



3月完成に向けて工事を進めています



完成イメージ

### 冒険遊びゾーン

斜面を生かした遊具や自然のぬくもりを感じる木製遊具を備えたエリア。新たな遊びの空間です。

◇ロング滑り台  
長さ約36m、高低差が約11mある滑り台で、市の公園では最長となります。木々を通り抜けながら大山に向かって滑るようなドキドキ感、ここでも味わえない醍醐味です。

◇ワイド滑り台  
幅が約4m、長さ約8m、高低差が約2.5mある滑り台。幅が広いので大人で一度に滑ることができます。スライダーの表面はスムーズな滑り心地を実現する素材を使用しています。お尻に敷くマットなどは不要です。

◇アスレチック遊具  
ターザンロープや冒険丸太渡り、ステップ丸太、ジグザグ丸太の4つの木製アスレチック遊具を設置。遊びながらバランス感覚を養えます。

◇健康遊具  
子どもの広場(空と大地のゾーン・冒険遊びゾーン)内の緩やかなS字の園路沿いには、誰でも使いやすいユニバーサルデザイン健康遊具を多数設置します。遊ぶ子どもを見守りながらストレッチできるほか、往復約500mの園路でウォーキングを楽しむこともできます。展望広場に登る前の準備運動としても最適です。

### 展望広場

伊勢原ならではの景観をゆっくり座って眺められる展望デッキが2基誕生。海側(平塚方面)のデッキは江ノ島や湘南平のほか、天気良ければ三浦半島から伊豆半島まで見渡せる絶景スポットです。



海側のデッキ正面から昇る朝日

## 令和3年度から後期整備が始まります

さまざまなスポーツ大会や、イベント開催時の臨時駐車場など、多目的に利用されている自由広場のほか、園内の散策・ジョギングコースなどを再整備する予定です。4年度の完成を目指し、ますます魅力的になる総合運動公園にご期待ください。